

仙台建設業協会（深松努会長）と仙台労働基準監督署による労働災害防止連絡協議会が13日、本年度の意見交換会を行った。労務・安全管理委員会（千田隆志委員長）や安全指導員が参加し、時間外労働

### 仙建協労務・安全管理委員会

働の上限規制の範囲や重量表示などについて、正しく理解し対策ができるよう疑問点などを確認した。

同協議会は、労働災害防止のさらなる向上を目的に設置し、定期会議、意見交換会、

## 仙台労基署と意見交換

建設工事安全パトロールの3事業をそれぞれ年1回実施している。意見交換は本年度、制度内容の解釈が正しいかや疑問点など4項目を提示し、仙台労働基準監督署の安全衛生管理課長らが回答した。

中でも労働時間の上限規制については、民間の建築工事について、休日の前倒しなどすでに対策を実施しているが、難しい実情と対策を確認した。このほか重量表示や、現場の誘導員を含むガードマンに万一、けがなどがあつた場合の元請け事業者の管理責任などについて確認した。